

由 緒

自転車は明治初期に西洋から伝来しましたが、自転車の修理に鉄砲鍛冶の技術が活かされ、後に自転車の国産化が堺に多くの自転車部品製造所を生みだしました。戦後自転車需要の増加に伴い、自転車産業は大きく成長しました。

大阪府自転車軽自動車商業協同組合は、昭和22年に現在地にて大阪府自転車リヤカー商業協同組合として創立され、大阪府下中小の自転車小売店が加入する協同組合として70年以上の歴史を経て現在に至っています。

事業理念

私たちは、自転車利用者に「安全・安心で楽しい自転車ライフ」の提供を最大の使命とし、「先義後利」をモットーに経験と技術の向上に努め、専門店ならではのアフターケアに力を入れることで、「親切・丁寧・安心」の魅力あるお店作りを目指しています。

自転車は販売のみならず点検・整備・修理が必須で、その技術は先人から綿々と受け継がれ、安全・安心な自転車を提供するために生かされています。

更に各関係機関と協力しながら自転車安全点検事業等の実施を通じて自転車利用環境の整備に寄与しています。

街の情景が大きく変わりゆく中にもあっても、皆様に愛される“街の自転車屋さん”として、これからも日々邁進していきます。

(組合シール)

組合のお客様であるという統一認識のもとに、「私たち組合の自転車店が責任をもってこのシールを貼っています！」



(イメージ)

概 要

商 号	大阪府自転車軽自動車商業協同組合 <昭和22年4月に大阪府知事の認可を受け創立>
所 在 地	〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町2-2-29 TEL 06-6621-5350 FAX 06-6629-6370 Mail obcc@f6.dion.ne.jp
組合員数	412名(令和2年3月31日現在)

事 業

- (1) 共同購買事業
自転車本体及びタイヤ・チューブ、その他自転車用品の斡旋
- (2) 教育情報事業
自転車の整備組立技術や店舗経営に関する研修会・講習会・女性会の開催、自転車業界等に関する情報提供
- (3) 福利厚生事業
自転車整備賠償責任保険（生産物賠償責任保険）及び傷害総合保険の加入、慶弔金の支給
- (4) 自転車安全利用対策事業
自転車安全点検整備事業（拠点型、店舗型）及び自転車安全利用講習会の実施、T Sマークの普及促進
- (5) 広報事業
春の売り出しキャンペーン事業、自転車安全利用のための広報グッズ等作製、組合員店の販売促進を図るための広報事業
- (6) 自転車防犯登録事業の受託業務

沿革と情勢

昭和22年 (1947)	大阪府自転車リヤカー商業協同組合創立
昭和25年	自転車、リヤカー、タイヤ・チューブ配給規則廃止
昭和26年	日本自転車軽自動車商協同組合連合会(日商連)創立
昭和29年	大阪府自転車モーターバイク商業協同組合に名称変更 自転車税廃止
昭和33年	自転車税廃止
昭和34年	自転車防犯登録制度開始
昭和37年	大阪府自転車軽自動車商業協同組合に名称変更
昭和42年	組合創立20周年記念事業実施 自転車無料点検の実施及び安全教室の開催(以後毎年)
昭和48年	自転車の国内生産台数が過去最高(941万台)
昭和54年	自転車組立整備士制度・自転車安全整備士制度開始



(旧組合事務所)



(現在の試験)

- 昭和56年 自転車基本法施行(旧自転車法)、自転車月間の制定
昭和57年 「T Sマーク付帯保険制度」導入
昭和61年 組合会館竣工



(組合会館竣工式)

- 平成5年 電動アシスト自転車発売(アシスト比率1:1)
平成6年 改正自転車法施行、同法で防犯登録の義務化
自転車整備賠償責任保険に組合員全員加入
平成7年 阪神淡路大震災
P L法(製造物責任法)施行
平成12年 (2000) 自転車の輸入台数が国内生産台数を超過
(国内生産467万台、輸入623万台)
平成16年 自転車の国内向け出荷台数が過去最高(1,159万台)
平成17年 自転車組立整備士制度改正、「自転車技士」に改称
平成19年 組合創立60周年記念式典開催



(組合創立60周年記念式典)
(加盟店章)

- 自転車の輸入台数が過去最高(960万台)
道路交通法一部改正『自転車安全利用5則』制定
電動アシスト自転車アシスト比率改定<1:1⇒1:2>
安全基準を満たした自転車の幼児二人同乗解禁
春の売り出しキャンペーン事業開始
平成22年 春の売り出しキャンペーン事業開始
東日本大震災
平成23年 道路交通法一部改正、自転車の悪質運転者に『自転車運転講習』義務化
平成27年 「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」制定
自転車賠償責任保険加入の義務化
組合創立70周年記念祝賀会開催
『自転車活用推進法』施行



(春の売り出しキャンペーントスター)